

理事長にインタビュー

理事長
ふかのげんた
深野 源太 先生

「来院された患者様が、当院を選んで良かったと感じてくれることが仕事の喜びに。」

福岡県北九州市にある「あい歯科クリニック小倉南」は2020年に開設されたクリニック。理事長である深野源太先生は、それぞれの患者様に合った治療法をとの想いで日々研鑽されています。また、お若いながらもインプラント臨床経験が豊富な気鋭の先生です。今回はそんな深野先生に気になるインプラントのことやクリニックのことなどについてお伺いしました。

自分の歯のように自然に噛めることが最大のメリット

—— まずはいきなりですが、インプラントの最大のメリットとは何でしょうか？

やはり自分の歯のように、自然に噛めるころだと思います。

義歯（いわゆる入れ歯）は、歯茎の上に被せるだけなので、お口の中でグラグラと動いて違和感を感じたり、歯茎の沈み込みによって噛む力が食物に十分に伝わらず、噛み切れないということがよくあります。また、お口の中を義歯が覆うことによって味を



感じにくく、発音にも障害が出たりすることがあります。歯がある程度残っている場合、義歯を歯に引っ掛けて固定するのですが、引っ掛けている歯には大きな負担がかかり、早期喪失につながる事もわかっています。インプラントは、そういった義歯の欠点を解消でき、「より自然に！」を実現できるのではないのでしょうか。

—— 自分の歯のように自然に噛めるようになるインプラントは、歯のことでお悩みの方にとって救世主ですね！

では実際にインプラントにされた方のお声はいかがでしょうか？

メリットでも述べた通り、より自然に噛めるとおっしゃられる方がとても多いです。特に義歯で悩まれている方は「痛い、噛めない、異物感が強い」と感じていらっしゃいますので、「もっと早くやればよかった！」と皆様おっしゃいます。

—— でも、インプラントは「何となく怖い」というイメージを持つ方も多いと思いますが、実際のところ



どうでしょうか？

インプラント治療は外科手術になりますので、怖いイメージがあるようですね。ですが、骨は神経の分布も少なく痛みを感じにくい器官ですので、過剰に怖がる必要はありません。

また、インプラント治療は顎の骨の状態によって手術の難易度が変わってきます。骨の幅や高さが十分にあると、手術時間も短くあっという間に終わります。すぐに終わるということは、痛みや腫れも少ないことが多いです。

ただし、骨が少ないケースとなると様々なリスクが生まれる可能性もありますので、インプラント治療に適した設備が完備されたクリニックで臨床経験豊富な歯科医に委ねることが大事だと思います。

患者様にとって話しやすい雰囲気作りを心掛けて

—— なるほど、設備が整っていて、経験豊富な歯医者さんに診てもらえることが大切なのですね！

ところで深野先生は、常に進化するインプラントの技術、知識をどのように習得されておられますか？

私の場合、主にスタディグループでの論文抄読会や学会などで情報を仕入れるようにしております。現在の情報化社会の中で、新しく得た様々な情報を全て鵜呑みにするのではなく、より本質を見極めることが歯科医師として重要だと考えております。

—— それでは、患者様とコミュニケーションをとる上で心掛けている点は？

まず、患者様がどういうお悩みをお持ちで、どうい

う説明を受けたい方なのかをしっかりと把握するようにし、患者様が求めていることを最優先して答えるようにしています。

特に情報が正しく伝わっているかには気をつけていますね。様々な患者様の状況に応じて対応させていただいております。

患者様にとって話しやすい雰囲気作りを心がけておりますので、なんでもご相談いただけたらと思います。

—— 患者様目線で対応されているんですね。では、深野先生、ずばり！お聞きしますがクリニックの強みはどこでしょうか？

当院では心技体ならぬ医道、医術、医業の3本柱を指針としております。

道は『人をもてなす心』、術は『日々医療を研鑽する技術・知識』、業は『医療サービスを提供する設備環境』の3つをクリニックの強みとして、スタッフ一同、日々研鑽に励んでおります。

—— まったく話は変わるのですが…。ご多忙だとは思いますが、休日はどのように過ごされていますか？

月に2回、出張で研修、学会等に参加しておりますが、それ以外は子供の送り迎え（部活や塾）で大抵の時間は過ぎてしまいます。

空いた時間に、読書や買い物、時にスマホゲームもします（笑）。時間があれば趣味のカヤックやカメラ（廃墟など廃れたものが好き）を持ち出し、過ごしています。

—— それでは最後に…。深野先生にとってこの仕事の喜びとは？

仕事を通じて多くの方に出会えること、そして来院された患者様が当院を選んで良かったと感じてくれることです。

ご来院いただいた患者様に感謝し、感謝されることが仕事の喜びに繋がります。ひいては私にとって人生の喜びではないかと思っております。